

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

大学での研究内容から医療機器関係のメーカーを志望し、情報収集をしていました。12月から説明会に参加し始め、1月はエントリーシート作成。2月頃から面接が始まり、4月に第一志望のメーカーから内々定を頂くことができ、就職活動を終えました。

志望業界と内定先は？

医療現場で使われている超音波医療機器に関する研究をしていたこともあって、医療機器関係のメーカーを志望していました。医療機器というと狭い領域のように聞こえますが、実際は様々なメーカーが「ヘルスケア」領域に取り組んでいるので、視野を広げて企業研究をしてみようと考えていました。

日立製作所は、私の研究テーマのデバイスを製品化していた企業だったので、当初から興味を持っていました。調べていくうちに、日立のグループ企業が検査装置や治療装置を扱って



いることも分かり、「この会社でなら、医療現場にトータルソリューションで幅広く貢献できる」とも感じるようになったのです。実は、修士1年の夏に日立製作所でのインターンシップも参加していて、社風や企業のモノづくりに取り組む姿勢を知る機会がありました。社風については、「技術者の働き方」という視点で見ていたのですが、社員同士が、職域を越えてディスカッションしていたこと。そして、私のような学生が質問をしても、「こういう考え方をしてみては？」と真剣に答えてくれたことが印象に残っています。

一番苦労したことは何ですか？

大学が東北にあったので、東京で行われる説明会に行くために、移動やスケジュールを調整

【就活データ】

- 就活開始：2012年12月
- 就活終了：2013年4月
- 志望業界：メーカー
- エントリー：10社
- 面接社数：2社
- 内定社数：1社
- 内定先：株式会社日立製作所 内定

活動体験談

case

01

自分の価値観を見つめ直し、周囲に流されない軸を持つ

東北大学大学院 工学研究科 バイオロボティクス専攻 修士2年 広島 美咲

することが一番大変でした。東京に向く時は、いくつかの説明会に参加できるように工夫していました。

また、面接やエントリーシート作成については、自分を客観的に捉えて分析することに苦労しました。これまでの生い立ちや選択、その時に自分はどうか思ったのか、といったことを書き出して、図式化しながら整理・分析を試みるようにしました。

理系ナビのサービスはいかがでしたか？

理系ナビの情報誌はよく読んでいました。中でも、メーカーで働く女性のインタビューは興味深く、女性でも理系で頑張っている方は多いし、キャリアを築いている方のお話は、自分の将来像と重ね合わせて、とても参考になりました。

就職活動で大切に感じたことは？

就職活動は、日々状況が変わっていきます。志望企業の選考がうまくいかなかったり、軌道修正を考えたり…と取捨選択の連続です。私の場合は、企業

の社会貢献や専門性を軸に、広く企業研究をし、優先順位をつけていきました。目の前の状況に流されず、「何を軸にして就職活動をしていくのか」自分なりの尺度をしっかりと持つことが大切だと思います。

どうしても行き詰まってしまった場合は、友人などに相談してみるのもいいかもしれません。私は研究室と一緒に就活していた同期によく相談をしました。同じ企業についての考えを聞いても、自分の着目点と違う意見を聞け、視点が広がって刺激を受けました。

これから就活に臨む読者へのアドバイスをお願いします。

就職活動で自分の進みたい方向が分からなくて悩む方は多いと思います。とはいえ、なんとなく進んできたように思えるこれまでの人生でも、深掘りして分析してみると行動の中心にあった自分の好きなことや、やりたいことが見えてくるはずですよ。そんな自分らしさや価値観を大切にして、皆さんの進むべき道を見つけてほしいと思います。

どんな業界や職種を志望しましたか？

現在は大学院生ですが、実は学部3年の時にも就職活動をしていました。当時は、営業や総合職を中心に志望していたのですが、WEBサービス企業のエンジニアと話して「自分の手で何かモノを生み出す」という世界を知り、エンジニア職に惹かれるようになりました。思い切った将来も考え直し、大学院へ進むことに。その後、友人とスマートフォンアプリを作る機会があったのですが、自分で作ったものが直接ユーザーに届くプロセスに大きな手ごたえを感じ、ますますエンジニアへの志望度が高まりました。

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

昨年の夏から冬にかけて4社のインターンシップに参加。12月から本格的に活動をはじめましたが、最初はあえて企業を絞りすぎず、興味を持った50社程度の研究から始めました。1月以降は説明会にも積極的に参加し

て社員のお話を伺い、志望企業を30社に絞ってエントリーシートを提出。3月に志望企業から内定をいただき、就職活動を終えました。

内定先を決めたポイントは？

三つあります。一つは、多種多様なインターネットサービスを展開していて、何事にもチャレンジさせてくれる環境があることです。将来のキャリアを幅広く考えられますし、成長イメージを持つことができました。二つ目は、社員がみな魅力的だったこと。お話を伺ったエンジニアの方が、いきいきと働いていて、「自分もここで活躍したい」と強く思うようになりました。三つ目は世間への影響が大きいことです。「自分の作ったもので多くの人を幸せにする」これが



【就活データ】

- 就活開始：2012年3月
- 就活終了：2013年3月
- 志望業界：IT
- エントリー：30社
- 面接社数：15社
- 内定社数：3社
- 内定先：ヤフー株式会社

case

02

理系の就職

自分は何をやりたいのか、徹底的に深掘りする

中央大学 理工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 修士2年 羽田 健太郎

私の目標なので、老若男女問わず、多くの人々が利用しているサービスのサービスは、非常に魅力的でした。

理系ナビのサービスはいかがでしたか？

理系にフォーカスした情報がこれだけまとまっている冊子はなかなかないので、毎号よく読んでいました。特に社員インタビューは、企業研究にも役立ちました。就職活動体験談はスケジュールの組み立て方など、参考にしていました。

就職活動で一番苦労したことは何ですか？

「自分は何がやりたいのか」限られた時間で答えを出さなくてはいけないことに、苦労しました。自己分析に一番時間を割いていたと思います。自分史を作って、それぞれの節目で自分は何を考えていたか、何を楽しいと感じるのか、とことん深掘りしました。

答えが出るまで悶々とすることもありましたが、そんな時はなるべく人に会って、アドバイスをもら

らい、言葉に落とし込むことを心がけていました。中でも「仕事は人生の大半を占めるものだから、楽しくなくては。嫌々ではなく、家に帰りたいくらいと思えるくらいの仕事しよう」という社会人の方のアドバイスは、今でも心に残っています。

これから就活に臨む読者へのアドバイスをお願いします。

説明会など企業と接点を持つ場に、積極的に参加してください。やはり、百聞は一見にしかず。実際に足を運ぶと、HPでは見えないことも見えてきます。直接社員の話を聞いて、その企業で自分がいきいきと働いている姿をイメージできるか、考えてみる。直感的かもしれませんが、私は肌で感じるフィードバックも大事にしていました。振り返ると、就職活動を通して、自分を見つめ直すという貴重な経験ができ、大きく成長できた実感しています。辛いこともあると思いますが、自分に甘えずに、目標に向かってチャレンジしていく過程は、得難い経験になるはずですよ。